

## 第2期八雲町総合計画策定に係る団体等懇談会実施結果

団体アンケートの設問について、改めて各団体の意見や要望等をいただくとともに、総合計画や町づくりに関する提言をいただくため、90団体を5つのブロックに分けて懇談を行った。

## 1. 団体活動や地域状況に対する八雲町自治基本条例による影響

「若い人のまちづくりへの参加」、「役員の固定化」、「役場職員の派遣」などの意見が多くなっております。特に、「若い人達のまちづくり(団体活動)への参加」が多くなっております。

(主な意見)

分類	意見等	ブロック
団体活動	○老人クラブは高齢化が進んでおり、若い人が加入しない。このような会議も若い人に参加してもらったほうがよい。	福祉・子育て支援
	○交通安全指導委員会は、年々、高齢化により指導員の数が減ってきている。イベントの協力となると、それなりの人数が必要となる。	自治活動・地域おこし
	○町の会議に出ると、ほとんど決まった顔ぶれ。決まった顔ぶれが、決まった意見を言うということで終わっている。	自治活動・地域おこし
	○山車行列への参加は年々減ってきている。同じ顔ぶれが役員となってやっていて、新しく若い人を巻き込んでやっていくのは、どこも共通の課題なのではないか。	自治活動・地域おこし
	○連合町内会は来年度に向けて、町民アンケートの実施や、若い人の団体意見を聞き、今後のあり方を検討していく。つつじ祭りの準備は町内会や実行員会だけでは無理。漁協青年部は忙しい時期なので手伝ってもらえない。役場の若手職員は地域の行事を知らないの職員を派遣し、色んな行事を知っていった方がよいのではないか。金銭だけでなく、労働面についても助けていただければありがたい。	自治活動・地域おこし
	○若い職員の派遣は考えていただきたい。参加しなくても見に来るだけでもいい。	自治活動・地域おこし
	○昔、各町内会には婦人部があった。町からの要請があり、婦人部で町の浴衣を購入して、祭りだとか山車行列のときはその浴衣を着て参加していた。今では町内会も婦人部の活動がなくなってきているような感じがする。農協や漁協の婦人部はあるが、町内の婦人部の活動が、まったくくないような感じである。	自治活動・地域おこし
	○地域づくりのために婦人部が果たしてきた役割は大きい。復活を目指して検討していきたいと思う。	自治活動・地域おこし
	○落部は連合婦人部がある。連合婦人部があるから落部の各イベントが出来ている。婦人部ができる事を願っている。	自治活動・地域おこし
	○基本、事業は商工会女性部だけでやっている。フラワーロードは各団体から参加していただき実施している。	女性団体・青年活動
	○熊石は人口が少なくなっているせいもあり、決まった人しか出てこない。若い人達に町づくりに参加してほしい。	女性団体・青年活動
	○建設協会はあわびフェスティバルに参加しているが、昔と比べると人数が少なくなっている	女性団体・青年活動
	○犯罪を犯した人たちが再犯しないよう保護司との共同で活動している。学童保育、幼稚園、わくわく教室に参加して子どもの育成についても頑張っている。	女性団体・青年活動
	○いつも集まる人の顔ぶれがおなじ。もっと若い人達が意見を言った方がいいのでは。	女性団体・青年活動
○青年部ですら出てこられない人がいる。仕事が一番なので、仕事がないときに少しでいいから手伝ってくださいと言う状況。青年部活動が主になるのは本末転倒。	女性団体・青年活動	
○若い人達が入りたくなるような魅力的な団体が少ない。	女性団体・青年活動	

【資料4】

分類	意見等	ブロック
情報共有	○自治基本条例については、浸透していないのが現実である。以前は、より自治基本条例を推進するために第三者機関を設置について行政に提案したが、行財政改革の観点から人材がさくことができないということだった。自助・公助の枠を超えた中で町民と行政が活動することが協働推進であるので、難しい課題ではあるが情報を共有できるように努めていきたい。	教育
	○いまだに自治基本条例というものが町民に理解されていないし、浸透されていない。	教育
	○自治基本条例という形で町が動き出したことは大変良いこと。町民より意見や考えを会議や作業を通して、頻繁に開かれてきていることは良い影響を及ぼしていると思う。条例をとおしてではなく、町民の声を聞いてもらえたらと思う。	福祉・子育て支援
その他	○八雲町の欠点に、「中心市街地に若者が楽しめる施設が少ない」とあるが、行政として町民に提供できる施設は娯楽施設ではない。回答した人は何を求めているのか。もし娯楽施設だとしたら、町の規模を考えるとまちに根づくのは難しい。	教育
	○落部地域は何でも小中学校を巻き込んでいて、先生方も協力してくれる。夏祭りや文化祭等の地域の行事においても一丸も一丸で行っている。	教育
	○行政とも連携できている。スポーツ公園のパークゴルフ場の整備や地域のスポーツ行事でも地域住民や行政も手伝ってくれる。	教育
	○社会福祉協議会としては、地域福祉ということでいろいろな団体との協力・協働がなければ成り立たないので、町のこのような方針は歓迎されるものである。	福祉・子育て支援
	○個人としては、多数の審議会等を行っていることに対しては評価したい。社会福祉協議会に協力している各団体は、協働に関する意識が高いと考える。	福祉・子育て支援
	○総合病院に受診したくても交通手段がないため行くことができない。バスを巡回してくれたら便利になる。	福祉・子育て支援
	○総合病院には普段は車で行くが、朝に電車で八雲まで来て、10時くらいに診察が終わっても12時過ぎまで駅で電車を待っている落部の人は何人もいて、初めてバスや電車の本数が少ないことを知った。	福祉・子育て支援
	○このように会議を開いているが、町民がまだそこまで考えがついていないのではないかと考える。	福祉・子育て支援
	○今日の会議は、どういう総合計画を立てて、八雲が進んでいったらいいのかということ。アンケート結果も色々出ており、これをどう分析して計画に盛り込んでいくのが重要。	自治活動・地域おこし
	○まちづくりと町おこしをわけて考えた方が良いのでは。住んでいる町民が少しでも満足感を得られる方向に持っていくのがまちづくりであり、八雲町を飛躍的に活性化して、よそからも人が来るようにするにはどうしたらよいかというのが町おこし。	自治活動・地域おこし
	○昔、町づくりの話し合いに出た記憶がある。「どうしようか」ではなく、「どうするんだ」という意見が多かった気がする。	女性団体・青年活動
	○町民が要望したものに町が答えたにもかかわらず、町民がそれに応えなかった（利用しなかった）と言うことが昔あった。	女性団体・青年活動
	○大工や土木などは人手が足りず、募集しても人が来ないと聞いている。八雲の職に夢や希望がないのでは。	女性団体・青年活動
○都会の方が何となく楽しそうだという理由で、八雲を離れる人もいるのでは。	女性団体・青年活動	

## 2. 北海道新幹線八雲駅(仮称)を地域振興に活用するアイデア

「2次交通網の整備」、「企業誘致」、「テーマを絞る」などの意見が多くなっております。特に、「檜山地域からの利用者確保のための国道277号の整備」が多くなっております。

(主な意見)

分類	意見等	ブロック
周辺整備	○新駅周辺にレンタカーだけではなく、町に人が来るような整備を行い八雲が通過点にならないようにしてもらいたい。	福祉・子育て支援
	○駅周辺に酪農発祥の地をPRするものを作り、他の駅とは違うものを作ってもらいたい。またスキー場を作れば、夏は牛と触れ合え、冬はスキーができる場となり、イメージがよくなるかと思う。国や道に支援をもらうような仕組みを考えていく必要がある。	福祉・子育て支援
	○八雲には自慢できる歴史や景色はたくさんあるが、1つか2つにして人が興味を持つものを考えたらどうか。	一次・二次・三次産業・労働
	○アンケート調査で、良いところは「自然が豊か」など色々あったが、沢山やってしまうと薄まってしまう。集中的に駅周辺の整備をして、二次的に各地域に人が流れるような仕組みを作っていく。	一次・二次・三次産業・労働
	○駅の真横に山があるのは唯一。どういった景観をつくるか課題。八雲に来れば唯一、徳川由来の木彫り熊が購入できるなどはどうか。	一次・二次・三次産業・労働
	○奥津軽いまべつ駅は通過駅みたいな状況となっている。交通網を整備したが利用客が少ない。新八雲駅にいかにか人を降ろすかということが、極めて重要な課題となってくる。	一次・二次・三次産業・労働
	○木古内の道の駅は町場に駅があって、まちづくりに協力する人が多いから、結構足を止めていたと思う。八雲町は牧歌的な景観、体験農場、八雲の名物での駅弁開発を行うべき。あと、他の町村のいいところを真似してゆっくり考えていった方がいいのではないか。	自治活動・地域おこし
	○新幹線駅周辺の整備は近代化ではなく、藁ぶき屋根で牛や馬を飼い、自然体験ができるような施設がよいのではないか。観光案内ができる人を養成しながらやっていった方がいい。	自治活動・地域おこし
交通整備	○3月まで長万部町において、「新幹線を核としたまちづくり」の会長を務めていた。長万部町の考えでは、町民の利用数は限られていることから近隣の市町(檜山、胆振、日高)をどのように巻き込んでいくかと協議していた。八雲町の場合だと森町は新函館北斗駅を利用すると考えるので、熊石地域を含んだ檜山をターゲットに考えていくべきだと考える。	教育
	○熊石地域を含んだ檜山との2次交通網の検討を行い、新駅で目玉になるようなものを考える。ハコモノ整備はランニングコスト等がかかってしまうので、「日本で唯一の○○」の文言を考えることはどうか。	教育
	○過度な期待はしない方がよい。青森県の場合を考えると、八戸駅・新青森駅が開通し人的交流は増えたが経済の活性・発展にはつながらなかったとの見解がある。新八雲駅に降りる期待が多くあるが、檜山方面の乗客をどう取り込むか、アクセスをどう作り上げていくかは行政側でできるという問題ではないため身の丈にあった投資を行うべきだと考える。	教育
	○アクセス状況がどうなるかということが一番重要。	教育
	○八雲に駅ができることはプラスになる。八雲に来る人をどうお迎えするかが課題になる。早期開業に向けて、また国道277号線の整備も同様に近隣市町と協力して頑張ってもらいたい。	福祉・子育て支援
	○熊石地域は津軽から入ってきている人が多く、新駅と熊石間の交通の便がよくなれば利用者は増えるかと思う。青森から来てもらう、もしくは熊石から行くというような人的な根付いた交流も視野に入れてもよいのではないか。	福祉・子育て支援
	○新幹線は今の函館本線とプラスαなのか。逆に今の在来線がなくなり、新幹線ができるのか。新幹線により観光客は増えるが、一般の人は函館本線をつかう。在来線と新幹線の人動きを調べる必要があるのではないか。	自治活動・地域おこし
	○日本海側の乙部・熊石・大成は八熊線を使う。八熊線を整備してほしい。檜山地域の人には本州方面に行く人は木古内駅を使う。札幌方面に行く人は八雲駅を使うと思う。八熊線の利用は増える。	女性団体・青年活動

【資料4】

分類	意見等	ブロック
P R	○歴史がある熊石の山車や木彫り熊発祥の地であることや、新駅の発車メロディーを花の首飾りにするなどのPRのアイデアをたくさん出してほしい。	福祉・子育て支援
	○地域の祭りを世界文化遺産に登録するような話題があるので、町として文化的な視点に立っているいろいろなものを育てていく発想や観点が必要になってくる。まちも人も将来は新幹線でつながっていく。行政が文化的な要素を保護する、育てていく、支援することが将来的に人の交流を広げていき、新幹線を通過させないことにつながるのではないかと。	福祉・子育て支援
	○自慢の商品はあるので、新幹線利用客に知ってもらえるような方法を考えていきたい。	一次・二次・三次産業・労働
そ の 他	○新幹線が八雲に止まることで何か良いことがあるのか。その効果に対する疑問がある。効果がないのに、お金をかける必要があるのかどうか、反対にいろいろな戦略を行った上で効果を生み出す。人が来るから何かやるのか、何かやるから人が来るのかなどの位置づけを町民に意見を伺いながら政策を行ったほうがいいかと思う。	福祉・子育て支援
	○現在、町では新駅の構想等を練っていることと思うので、このチャンスに期待をして頑張ってもらえると思う。またそれが将来に結びつく八雲になってもらえたらと思う。	福祉・子育て支援
	○八雲に駅が出来ることが決まる前はまち全体が盛り上がりだと思っていたと思うが、決まった現在は冷めているように思える。行政やその関係機関で作り上げるのではなく、もう一度まち全体が盛り上がるようなことを行うことも協働のまちづくりではないかと。	福祉・子育て支援
	○国立病院の跡地の検討も進めていただきたい。道道のそばにあり、新駅までの道になるかと思うのでどのように活用するか考えていただきたい。	福祉・子育て支援
	○補助金が減らされて団体が育たない。団体を育てることで将来的に町外との交流等が深まっていくと思う。	福祉・子育て支援
	○新幹線を中心としたまちづくりは、手をつけていかなければならない。八雲の将来を考えたとき、新幹線と言うのは非常に大きな、まちが発展する重要点かと思う。	一次・二次・三次産業・労働
	○交通の部分がネック。降りてもらうには、特産品を開発していかなければならない。駅は牧草地に出来るため、環境の整備（においなど）が重要。	一次・二次・三次産業・労働
	○新幹線が来て、爆発的に八雲町が良くなることは無い。八雲町民が自慢できる町にするというのが一番。新幹線ありきのまちづくりではなく、目玉を絞って自慢できる町づくりが大事。	一次・二次・三次産業・労働
	○行政がある程度中心となるのが理想。新幹線抜きにして町づくりは出来ない。新幹線の工事始まっているが、山の中でトンネルを掘っているので町民は解らない。町全体が新幹線ムードで盛り上がり行かないと駄目。	一次・二次・三次産業・労働
	○総合計画は最終的に色々な所に気をつかった及第点を取れるような計画が出来てしまうが、人口減や様々なマイナス要素の中で、どうやって八雲を光らせるかといった場合、一点・二点豪華主義的な施策として打つものはないのかを探した方がいいかと思う。	自治活動・地域おこし
○新幹線の駅ができるからと言って浮かれない。なぜ木古内に駅ができたのかは、江差線を廃止にするために木古内に駅ができたという裏表があるので、決して駅ができるからと言って浮かれない方がいい。団体の観光客が入れば一時的にもうかるが、地元の人足は遠のく。できれば、団体と呼ぼうということではなく個人のリピーターをどうしようかというところに重きを置いて頂きたい。今もそうだが、観光案内をすることでいいところがない。今あるものを手間をかけないで、できることから初めて、個人のリピーターを増やす。それを体験につなげていけばいいと思う。	自治活動・地域おこし	

## 3. 八雲町のまちづくりにおける問題・課題、その解決方法

「雇用の場の確保」、「人材育成」についての意見が多くなっております。また、「建設業では新規の技術者の雇用は難しい」や「水産加工業では恒常的な人手不足」などの意見もでております。

(主な意見)

分類	意見等	ブロック
雇用	○八雲に新しい企業がない。立ち上げるのも難しいので積極的に企業誘致をしてほしい。若い人が八雲で働きたいけど働けない。今ある企業ではそんなに多く雇用できない。八雲を町全体でPRして行くことが大事。道南の中核都市を活かしていかなければならない。	一次・二次・三次産業・労働
	○一次産業とはどういったことをやっているのかを見学するのも1つの方法なので。	一次・二次・三次産業・労働
	○漁業に関しては、季節的な雇用の需要はあるが、漁家として新規参入してやっていくというのはなかなか難しい状況がある。雇用の受け皿としては難しい状況。	一次・二次・三次産業・労働
	○酪農は厳しい状況である。どんどん農家戸数が減っている。いかに食い止めるかが喫緊の課題である。新規就農の話はあるが資金面で難しくなっている。	一次・二次・三次産業・労働
	○建設業は仕事に波がある。新規の技術者を入れるのは難しい。大工の数もどんどん減っている。役場で公共事業をどんどん出してくれれば何とかなる。新規住宅も減っていると聞いている。現在も厳しい状況だが、今後も厳しい状況は変わらない。	一次・二次・三次産業・労働
	○技能者協会は高齢化している。去年あたりから小学生を対象とした技能フェアを行っている。少しでも子供たちに職人の仕事に興味をもってもらいたい。	一次・二次・三次産業・労働
	○水産加工は、恒常的な人手不足である。アンケートにある「働く場が少ない」という回答には違和感を感じる。募集をかけても来こない、来てても定着してくれないというのが現状。外国人技能実習生を活用しなければならない。	一次・二次・三次産業・労働
	○夏・冬通して働ける場をお願いしたい。	一次・二次・三次産業・労働
	○若い人達を定住させるには、企業誘致が必要。企業誘致するとき、どこに受け皿用意するのか。行政が本気で考えなければならない。	一次・二次・三次産業・労働
○企業誘致を積極的にしてほしい。	一次・二次・三次産業・労働	
教育・子育て	○熊石地域は学校数が減り、落部地域も学校数は減るとは思うが、子どもはいなくなりはならない。山崎地区もそうなると思うが、子どもの居場所づくりが必要だが、面倒を見ることはできるのか。地域と教育の関わりの問題があるかと思う。	教育
	○八雲高校は現在地域キャンパス校として、八雲高校をセンター校、長万部高校をキャンパス校とし、教員の派遣を行っている。それもあってか先生方が夜遅くまで残っている。土日も講習や模試、部活等があり休みがない。生徒の夢を叶えるための一助をなるべくするようにやっていることを今以上に地域の皆様に理解してほしい。	教育
	○今年度から校長、教頭は小中学校の運動会や学芸会に出席し連携を図っている。地域に認めてもらうことが重要になる。義務教育とは違い、生徒に選んでもらわないと減っていつてしまう。北海道とも相談をし、また地域の声を聞いて進むべき方向を決めていきたい。	教育
	○来年度より落部地域で小中一貫型のコミュニティスクールが始まり、再来年度より八雲地域が始まっていく。一貫型を目指すので、学力向上や中一ギャップの解消など義務教育9年間の教育課程が編成されていくだろう。その成果が表れたときに、学校教育の充実を進めていかなければならない。	教育
	○高校にやりたい部活がないために、町外の高校に流れている現状がある。地元でやりたい生徒もいるので、配慮していただきたい。	教育
	○部活動を真剣にやっていただける先生が少ないという声が聞こえてくる。	自治活動・地域おこし

【資料4】

分類	意見等	ブロック
人材育成	○町民アンケート結果からも福祉の充実に対する希望感は強いと感じた。しかし、地域福祉活動の充実が平均値以下となっている。充実はしてほしいけど、活動はしたくないと捉えられるので、人材の担い手を探したり育てたりする活動を展開する必要があるかと思う。	福祉・子育て支援
	○老人クラブだけではなく、町全体で高齢化が進んでいる。老人クラブに先導者がいなく、ぜひ町職員や教員のOBに入っていていただいて引っぱってほしい。	福祉・子育て支援
	○スポーツ指導員や指導者の育成にはお金がかかる。少額でもいいので助成をしながら育成が必要と思われる。	自治活動・地域おこし
その他	○ふるさと納税を何度か八雲町にしているが、広報に名前が載るだけは違うと考える。近隣町は返礼品を送っているそう。またふるさと納税が何に使っているかわからないので、わかるようにしてほしい。	教育
	○ふるさと納税で収入が増えている。資金で苦労している団体も多いので、少しでもよいので補助金を増やしていただきたい。	教育
	○公民館を立派な施設にし、そこで行う様々な活動が展開できることを町でバックアップしてもらいたい。アンケートを見てもこのような問題に対する意識が低い。低いということはそういう部分を育ててこなかったということもあったと思うので、新しい総合計画にそのような理念をしっかりと入れてほしい	福祉・子育て支援
	○小規模企業基本法という法律ができたことにより、商工会では経営発達支援計画を策定して、国の認定を受ける作業を進めている。販路開拓、販わい創出による商店街の活性化などによる小規模事業者の経営の持続的発展、廃業率の減少、企業の増加による地域経済の活性化を図ることにより八雲町の商工業の創生を実現したいという目標を掲げている。	一次・二次・三次産業・労働
	○猫や犬のフンの処理について一生懸命頑張っている。町の中もきれいになっていると思う。しかし、雪解けになると歩くのも大変になるほどフンがいっぱいになるのは皆様ご存知かと思う。きれいな町で皆様が気持ちよく歩ける道路にしたいと思って昼夜頑張っている。	自治活動・地域おこし

## 4. 八雲町の今後のまちづくりに対する意見・要望

「町からのまちづくり方向性の提示」、「雇用」、「人材育成」などの意見が多くなっています。特に、「町民アンケート・団体アンケートや各種懇談会の意見を集約し、まちづくりの方向性を提示してほしい」という意見が多くなっています。

(主な意見)

分類	意見等	ブロック
町づくりの方向	○まちづくりの方向性ということで大学との連携があり、現在も行っているかと思う。これからは近隣市町の大学の学生を呼び、行事やイベント等に参加すると単位がもらえるような仕組みづくりを進めていただきたい。	教育
	○アンケートを行政がまとめて、どういう町をつかっていくという柱ほしい。町民の意見も必要だが、行政としての考えを出していただきたい。	一次・二次・三次産業・労働
	○今後10年間の総合計画策定のキーワードは新幹線。平準的な投資ではなくて、ある程度集中的に思い切った投資が必要。	一次・二次・三次産業・労働
	○アンケート結果を見ると八雲町は悪い町ではない。色んな意見や要望があるが、何を最優先に取り組むべきか考える必要がある。	一次・二次・三次産業・労働
	○アンケート内容を集約・精査し、町としての柱を出してほしい。それに町民や団体が検討していくという形の方が良い。	一次・二次・三次産業・労働
	○アンケートで町民の方向性が出ているので、行政の考えを示してほしい。	一次・二次・三次産業・労働
	○パノラマパークに来る人を、いかに町中に呼び込むかが課題。新幹線含めた総合開発であれば、今からその手立てを町の中で考えていき、新幹線を迎えるという形を次の計画の中で考えていけば、より良い町づくりになる。	一次・二次・三次産業・労働
雇用	○まちづくりを進めるにあたって一番大事なことは、住民の意識だと思う。町がやってくれるという意識でなくて、リーダーシップは町が取ることが多いが、町民は何ができるのか、自分たちの住んでいる町は自分たちで良くしていこうという意識をもってもらうことが必要。自分が何ができるのかということを中心に頭において、住民として積極的に提案したりすることが大切だろうと思う。	自治活動・地域おこし
	○担い手の問題がある。募集をかけても一向に応募がない状況である。地元だけでなく、札幌や函館などで担い手相談会を町主導で出来ないか。短期間でやめていく人もいる、体験就労などの手法の検討も必要。	一次・二次・三次産業・労働
	○一次産業のアルバイトの立場が不安定なので長続きしない。雇いたい方は人が来ないと言う。働きたい方は雇用条件との兼ね合いで行きたくない。八雲町の場合は、雇用条件をちゃんとしないと人は来ないと思う。	自治活動・地域おこし
	○日本海側はほとんど漁獲がない状況。日本海対策の中でウニの養殖をやろうとしている。ウニのえさを開発する業者が熊石に入ってきて、熊石の深層水を使って餌の開発をやりたいと来ている。業者がどんどん入ってくる仕組みを作っていかなければならない	女性団体・青年活動
人材育成	○最近、栗山に行った。玉ねぎ農家が今年から熊石の深層水の塩分だけ除いたミネラル水を使っている。身の重い玉ねぎが出来ている。研究機関とタイアップしながらミネラル水を活用していければ一番いい。	女性団体・青年活動
	○人を育てることについての見本となるのは、若人の集いだと思う。色々な人を巻き込んで活動している。	自治活動・地域おこし
	○役割分担だとか、必要とされていると自分が思うということが重要かと思う。	自治活動・地域おこし
	○人材育成は、どの団体でも、どの地域でも悩んでいること。総合計画の策定にあたっては、若い人達との懇談できる場をたくさん設けるべきだと思う。	自治活動・地域おこし

## 【資料4】

分類	意見等	ブロック
跡地利用	○行政が基本方針を出し、それについて検討した方が良い。国立の跡地に庁舎の移転となるとシビックコアの理想的な形になる。	一次・二次・三次産業・労働
	○国立病院の跡地に役場が引っ越したらいいと思う。津波対策とか災害時の広場確保のために、今ある場所は公園か駐車場にして、国立のところに役場機能をすべて移転させたらと思う。	自治活動・地域おこし
	○熊石の廃校となる校舎の活用方法を検討しなければならない。	女性団体・青年活動
その他	○八雲町はスポーツをやる環境は素晴らしい。しかし高齢者、特に家から出ない高齢者が多くなってきている。健康寿命を延ばせば、医療費が縮減されることは照明されているので、その人たちが外に出て、何らかの形で運動する施策を考えていかなければならない。	教育
	○東京でなぜ若者の自殺が多いかというアンケートを聞かれたことがあった。その時答えたのは、田舎はみんな主役だからそんなに自殺しないんだ。都会の人はその他大勢だから自殺するんだ。だから田舎に来いと言った。自分が八雲に来てよかったのは、居場所がある、やることがあるということ。若い人達にも、あてにされている、やることがある、居場所があるということを知らせてやりたい。	自治活動・地域おこし
	○町に要望した時に、前例がないということで断られることが多々ある。「前例がない」や「検討します」というお役所用語はなるべく少なくして頂きたい。	女性団体・青年活動
	○去年、はち婚をやった。定員は男性女性とも20人であり、PRとしてポスター配って テレビに出たりした。女性は定員オーバーであったが、男性が少ない。今年も男性集めに苦労したと聞いている。この町の男性は嫁さんを欲していないのではないか。	女性団体・青年活動
	○町が寂れていくのはさびしい。中標津は人口が年々増えているが理由が分かっていないが、中標津は新しいものをつくろう・やろうという活気があるようだ。	女性団体・青年活動